

死亡情報を共有することで 保険金の 未払いを防ぐ

死亡情報共有



課題

保険金の未払い

受取人は被保険者から死亡保険の契約情報を知らされていないことがあり、保険金の未払いが発生してしまう

非効率な照会制度

生命保険協会の生命保険契約照会制度により死亡保険契約の有無を確認することが可能であるが、生命保険会社全社が調査対象となるため非効率である

解決策

データ連携基盤を構築

医療機関が持つ死亡情報を保険会社や公的機関に連携する

自動給付

保険会社が被保険者の死亡を検知し、保険金の自動給付を行う

効果

未払いの防止

保険会社が被保険者の死亡を検知することができるようになるので、死亡保険金の未払いを防ぐことが可能になる

業務の効率化

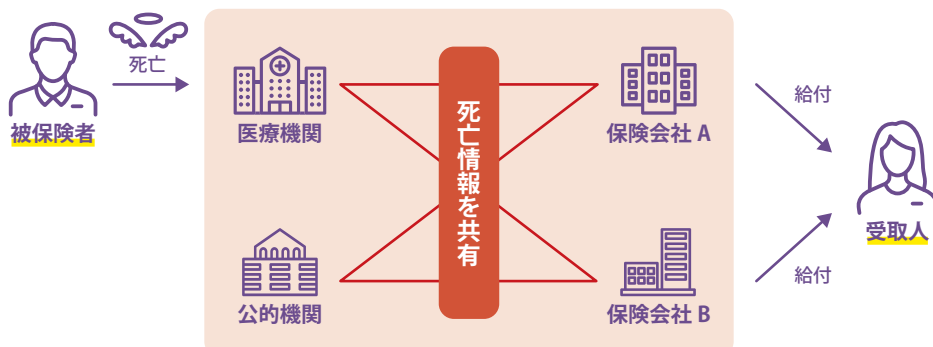
生命保険会社全社を対象とした契約有無の調査が不要となるため、業界の業務効率化を図ることが可能になる

顧客体験の改善

死亡保険金の自動給付により、顧客体験の改善を図ることが可能になる

スキーム

医療機関が持つ死亡情報を共有



受取人は請求することなく死亡保険金を受け取れる